

2024年度 木曾青峰高校 定時制 学校関係者評価報告書

評価

A:よい B:おおむねよい C:不十分

総合評価		学校評議員記入欄		
		評価	コメント	
<p>少人数の定時制では生徒一人一人にきめ細やかな対応ができており、弾力的な指導の下、登校できない生徒に対して、ICTを活用したリモート学習も取り入れるなど、個に応じた学習指導に取り組むことができた。また、今後も職員間の情報共有と連携を密にし、生徒の能力を引き出せるよう粘り強い指導を心掛け、同時に校内のICT機器の利活用を円滑に進めていきたい</p> <p>昨年度よりも健康相談活用を充実させ、生徒の状況を細かく把握することができたが、生徒間のトラブルに対して、若干対応が遅れてしまった部分があったので、職員間で情報共有をしながらSSW等をできるだけ早めに導入し、対応していきたい。</p>		A	<p>○一人一人の願いや課題に寄り添って、社会で自立していく資質・能力を高めていただき、中学校としても大変ありがたく感謝しています。</p> <p>○登校できない生徒に対して、一人一人粘り強く関わることは難しいと思いますが、重要であると考えます。これからもお願いいたします。</p> <p>○地域の定時制に対する認知不足は否定できません。これからも一緒に考えていきたいと思えます。</p>	
成果と課題	評価	改善策・向上策	学校評議員記入欄	
			評価 コメント	
<p>重点目標① いじめ・体罰などのない安心かつ安全な学校づくりを進める。</p> <p>【成果と課題】多くの生徒は落ち着いた雰囲気の中で、特に問題なく学校生活を送っている。精神的に不安定であるなど、必要と思われる生徒に対しては、専門家のカウンセリング等も利用しながら臨機応変に対応できているが、若干対応が遅れてしまった場面もあったので、早めの対応を心掛け、今後も継続的な指導をしていきたい。</p>	A	<p>生徒同士が互いを尊重する雰囲気を継続できるようコミュニケーション能力の向上や社会性の定着を目指すとともに、生徒のささいな変化にも気づけるよう、全職員が常に意識しながら、些細な事でも情報共有を徹底し、トラブル等に早めに対応をしていく。また、ネットによるトラブルの防止のため、SNSなどの使用についても継続的に指導する。</p>	A	<p>○ネットによるトラブルが多く報道されます。今後ともご指導をよろしくお願いします。</p>
<p>重点目標② 生徒一人一人の発達段階に合わせた進路希望をサーチし、自己肯定力を持ち主体的に自己の到達点を定めた学びができる生徒の育成を、様々な機会を活かし進める。</p> <p>【成果と課題】企業見学会や、様々な外部講師による講演会を実施したことで、生徒自身普段と異なる刺激を受けることができ、生活態度の向上、社会への意識向上がみられた。</p>	A	<p>進学や就職等、外部からの情報をタイムリーに把握し、生徒への情報提供に努める。また、AIの益々の社会進出など、現時代に即した情報の提供をすることによって、生徒の進路実現に貢献する。</p>	A	<p>○生徒の進路の選択肢が増えてくれることを願っております。</p> <p>○定時制の生徒数について、もう少し増加できれば良い。</p>

<p>重点目標③ 地域社会や地元の教育機関とつながり、開かれた学校を目指しながら、生徒自身が地域社会に参画し貢献できる環境を活用し、個人と社会のWell beingを実現させる。</p> <p>【成果と課題】 地域の教育関係者、保健師などと意見交換の場を頻繁に持てた。また、校内生活体験発表会では生徒、職員その他、保護者、来賓を招待して実施することができた。さらに地域の中でのアルバイトにより、学校生活だけでは得られない成長を感じさせる生徒もみられた。</p>	A	<p>地域の保健師や支援員などとの交流により、生徒へ多面的な指導ができるようになっていたので今後も継続する。</p> <p>地域の人材を招いたり、地域で開催されている講座に参加したりする。特に木曾地域の特徴・特性を活かした学習の方法を模索していく。</p>	A	<p>○地域との連携が重要だと思います。様々な経験ができることを願います。</p> <p>○地域との交流は素晴らしいことです。</p>
---	---	--	---	---

評価項目		評価	改善策・向上策	学校評議員記入欄	
				評価	コメント
学習指導	授業内容（補充授業を含む）の充実と出席率の向上	B	各教科の教育目標を明確にし、生徒と共有するとともに、生徒の実態に応じた課題、教材の選定により、生徒の興味関心を引き、基礎学力の定着や出席率の向上をはかる。また魅力ある授業を目標に、ICT機器を活用する。	B	○生徒の学力実態の幅も広く、対応も大変なことと思いますが、頑張っていたと思います。
進路指導	進路目標の明確化と進路実現	A	早期から進路への意識付けをし、進路学習の機会を設けた。企業見学等を実施し、4年になるまでに進路の方向を見据えられるよう、早めの情報提供と、具体的な進路活動を開始できるような支援である。	A	
	キャリア教育の推進	A	生徒が長期的展望で自分らしく生きていくことができるよう、自己有用感を育む学びを意識する。また地元の産業にも光があたるような取り組みを考えたい。	A	
自主活動	クラブ・生徒会活動等自主活動の活性化	A	係を中心に職員全員でサポートすることができたので、今後も生徒が自主的に企画運営できるよう、生徒の意見を尊重しながら、全員で支援する。	A	
生活指導	基本的社会性を持った人間の育成	A	社会性を身に付けるためには規則正しい生活習慣が大切である。時間を守る、連絡・報告をする、清掃にしっかりと取り組むなど、生徒・職員共に意識し、家庭と協力しながら、継続的な指導が必要である。また、クラスを超えた活動や校外の活動などから、人権感覚を磨き、互いに尊重し合える人間関係を構築したい。	A	
	全職員による生徒の状況把握（情報の共有）	A	日頃から綿密にコミュニケーションをとることができる環境であるため、今後も常に生徒情報を共有できる状態を継続していく。	A	
	相談・支援体制の充実発展	A	SC、SSW等との連携がよくできているので今後も継続する。また保健相談等も充実しているので、誰にでも相談できる雰囲気をつくり継続したい。	A	
	家庭・地域社会との連携	A	家庭内の異変を早期に感じ取り、今後も自治体や行政・福祉等、関係機関と情報共有していく必要がある。また生徒の卒業後も見据え、地域と連携を続ける。さらに通信やWebはもちろん、双方向的なコミュニケーションに努めたい。	A	
学校運営	緊急時保護者への連絡体制の完備	A	体制は確立しているので、定期的に点検を行い、不測の事態に備えておく。また日頃より保護者と連絡を密にとる。	A	
	学校ホームページ・パンフレットの充実	B	写真の活用を工夫して、発信力を強化し、地域の方々に確実に届く広報にする。	B	○新しいものが出てくることを楽しみにしています。
	授業等の公開	A	年間行事計画に沿って2回の公開授業に加え、希望する中学生にも授業を公開できたので、生徒の負担にならない範囲で多くの方々に参観いただけるよう工夫したい。	A	○オープンにしていると思います。